

令和6年度 江戸川区立船堀第二小学校 人権教育 年間指導計画（第6学年）

年間指導計画作成のための留意点（東京都教育委員会発行『『人権教育プログラム（学校教育編）』p14 人権教育の年間指導計画（例）』を必ず参照し作成すること）

- 教科等の目標や内容を踏まえ、その単元や題材全体に関わる人権教育の視点を明確にした上で、指導計画に位置付ける。
- 普遍的な視点からの取組と個別的な視点からの取組を指導計画に位置付ける。
- 各教科・読書科、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、特別活動等における内容について、**個別的な視点からの取組を中心に**関連を明確にする。
- 児童・生徒が主体的に学習活動に参加し、互いに協力し合って学習に取り組めるよう、協力的、参加的、体験的な学習を位置付ける。

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学級経営	他の児童を傷つける行動の誤りについて指導。				学級の一人一人が人間として尊重されることを指導。				卒業にあたり、全員がお互いを尊重しあうよう指導		
各教科・読書科	社会科 「日本国憲法」 基本的人権の尊重を理解する。	体育科 保健「心の発達と不安や悩み」心の発達と不安や悩みへの対処の仕方を知る	国語科 「ぼくの世界、きみの世界」 人それぞれ、自分だけの世界があることに気付く。		社会科 「蘭学の発達と腑分けの技術」農民や町民よりも低い身分とされた人々の優れた技術と社会への貢献を理解する		社会科 「明治維新と市民平等」	体育科 「体育大会」 努力・協力・信頼・友情	体育科 保健領域 「病気の予防」 病気の予防について理解できるようにする。		社会科 「日本との関係の深い国々」 日本と関係の深い国の生活や国際社会における我が国の役割を理解する。
特別の教科 道徳	学級活動 学級目標を設定する過程で、思いやりの気持ちを育てる。		（思いやり） だれに対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にしようとする心情をもつ。「障害者」		偏見や差別の不合理に気づき、それらを解消しようとする心情を育てるため、道徳との関連を図る。		（公正・公平） だれに対しても公正、公平に接し、正義の実現に努めようとする心情をもつ。「外国人」「高齢者」		（生命尊重） 病気について正しく理解し、誤った知識は偏見や差別につながることに気づく。		
総合的な学習の時間							「コミュニケーションの方法をさぐろう」（情報）		「ボランティア活動しよう」（福祉）		
特別活動	1年生との交流						学級活動 思いやりの心をもって友達に接する。		学級活動 6年間を振り返りながら、協力してよりよい生活を築こうとする大切さを考える。		
その他		運動会 協力・信頼				日光移動教室 信頼・友情	<展覧会11月> 自分らしさ・協力・鑑賞		ユニセフ募金 自らの可能な貢献に着いて考え		卒業式 感謝・希望

「 」＝個別的な視点からの取組（末尾の「 」内は人権課題）
 ⇔＝関連的な指導
 〓＝多様性を理解し、尊重し合う態度を育成することを重点とした指導。